

地域研究委員会地域学分科会（第24期・第6回）議事録（公開）

1. 日時：2019年12月22日（日） 11:00～12:00

2. 会場：日本学術会議 2階 大会議室

3. 出席者：宮町良広，水内俊雄，中澤高志，伊藤 悟，岩瀬峰代，碓井照子，岡橋秀典，小田宏信，加藤幸治，小長谷有紀，小林 知，菅 豊，曾我 亨，増田 聡，矢野桂司，山川充夫，山下博樹

4. 議事概要

(1) 前回議事録確認

事前メール審議にて了承済み。

(2) 「地方創生と地域学」にかかわる参考人からの意見聴収について（参考人）玄田 有史氏（東京大学社会科学研究所教授）

玄田参考人から，東京大学社会科学研究所が全所的プロジェクトとして2000年代に開始した「希望学プロジェクト」の経緯と成果について紹介があった。同プロジェクトでは多くの試練を希望につなげていった岩手県釜石を事例調査地域としたが，現在のプロジェクトである危機対応学でも，改めて釜石の経験を考えている。地方創生とならんで，これからの地域に必要なのは，人々がクスッと笑えるような「小ネタ」ではないかとの発表があった。

その後の質疑では，地方出身者がどうやって地元に戻ってくるのか，ネット等で話題の「地域ネタ」と「小ネタ」が混同される懸念などが議論された。

(3) シンポジウムについて

当日午後に地域学分科会主催で開催する公開シンポジウムの司会について，田原連携会員病欠により，山川連携会員に交代することとした。次いで学術の動向の特集企画に内容を掲載してはどうかという提案が山川連携会員からあり，登壇者等が寄稿することで一致した。

(4) 人文・経済地理分科会との共同提言（案）について

松原会員から，地域研究委員会の人文・経済地理学分科会の提言案「国土構造の将来像を踏まえた第2期地方創生施策の実施に向けて」について，別紙資料により説明がなされ，地域学分科会との合同提言とすることについて提案がなされた。活発な審議の結果，地域学分科会は提言者として加わらないが，提言の内容面，とりわけ「(2) 地域の知を活かした地方創生の推進」の記述に関しては，これまでの分科会の議論を活かして協力することとした。

(5) その他

特になし

以上